



Setsubun：授業アイデア (簡単版)

節分をテーマにした英語の授業アイデア 5本

Class _____ No. _____ Name _____

1. 英語で豆まき：「〇〇 out! 〇〇 in!」

小学校・15分

🌀 out / in を使って、追い出したいもの・招きたいものを英語で言う。

1. 鬼の絵に "homework" "cold" "sleepy" など追い出したいものを書いて黒板に貼る。
2. 丸めた紙の豆を投げながら "Cold out!" "Smile in!" と言う。
3. 最後にクラス全員で "Demons out! Luck in!" と言って終わる。

2. 鬼の自己紹介を書こう

中学・25分

🌀 三人称単数の表現で、オリジナルの鬼のプロフィールを書く。

1. "He has two horns. He likes ... He doesn't like beans." の例文を確認する。
2. 自分だけの鬼（例：Homework Oni, Smartphone Oni）を絵にかき、5文で紹介する。
3. グループで発表し、聞き手は "How can we chase it away?" と質問する。
4. 追い払い方を英語で1文書いて完成。

3. なぜ節分は2月2日になる？ 理科×英語

高校・35分

🌀 数字や天文の説明を英語で読み、自分の言葉で説明し直す。

1. "A year on the calendar is 365 days, but the earth takes about 365.24 days to go around the sun." などの英文を読む。
2. 2025～2029年の立春の時刻（このページの本文）を表にし、日付が変わる理由をペアで話し合う。
3. "Setsubun moves because ..." で始まる3文の説明を書き、発表する。

4. 世界の鬼払いマップ

高校・40分

🌀 世界の厄払い行事を調べ、比較の英語表現で発表する。

1. 春節の年獣、クランプス、クケリ、チャハールシャンベ・スーリーなどから1つ選ぶ。
2. いつ・何を追い払うか・どうやって、の3点を英語でまとめる。
3. "Like Setsubun, ..." "Unlike Setsubun, ..." の形で節分とくらべる文を作る。
4. 世界地図に貼って発表する。

5. 恵方巻は伝統か？ 食品ロスと商業化を考える

大学・45分

🌀 伝統と商業化、食品ロスの問題について英語で議論する。

1. 本文の恵方巻の歴史（1932年のチラシ、1989年、1998年）を確認する。
2. 「新しく広まった習慣は伝統と言えるか」をグループで話し合う。
3. 食品ロスへの対策（予約販売など）を英語で3つ提案する。
4. 意見を150語の英文にまとめる。



1. 英語で豆まき：「○○ out! ○○ in!」

授業手順書（詳細版）／対象：小学校／15分

Class _____ No. _____ Name _____

🎵 ねらい

Cold out! / Smile in! のように、追い出したいものと招きたいものを out / in を使って英語で言える。

📁 準備

- 鬼の絵（黒板用、大きめ）とお多福の絵
- ことばカード（追い出したいもの：homework / cold / sleepy / angry / mistakes、招きたいもの：smile / luck / friends / health / fun）
- 丸めた紙の豆（1人3～5個）
- このサイトの英語ページ本文の第1段落の音声

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	3	鬼の絵を見せ、What's this? と聞く。本文の第1段落の Oni wa soto! Fuku wa uchi! It means Demons out! Luck in! の部分を音声で聞かせ、英語では Demons out! Luck in! と言うことを伝える。	鬼の絵を見て答え、音声をまねして Demons out! Luck in! と言う。	"What's this? Yes, an oni. A demon!" "Listen. Oni wa soto! Fuku wa uchi!" "In English, Demons out! Luck in! Say it with me."
展開1	4	鬼の絵のまわりに追い出したいもの（homework / cold / sleepy など）、お多福の絵のまわりに招きたいもの（smile / luck / friends など）のことばカードを貼る。子どもたちにも「ほかに追い出したいものは？」と聞き、出てきた語を英語にして貼り足す。	ことばカードの語をまねして言い、自分が追い出したいもの・招きたいものを考える。	"What do you want to chase away? Cold? Homework?" "What do you want to invite in? Smile? Friends?" "Any other ideas? Tell me in Japanese, and I'll say it in English."
展開2	5	紙の豆を配り、1人ずつ黒板の鬼に向かって投げながら Cold out! のように言わせ、そのあとお多福に向かって Smile in! と言わせる（豆は投げる真似だけでもよい）。言えたらみんなで拍手する。	紙の豆を投げながら、○○ out! ○○ in! と英語で言う。	"Throw your beans at the demon. Say, Cold out!" "Now look at the lucky face. Say, Smile in!" "Great! Next person, please."
まとめ	3	最後にクラス全員で Demons out! Luck in! と大きな声で言って終わる。日本では年の数だけ豆を食べることも伝え、「今日家で豆まきをしたら、英語でも言ってみよう」と声をかける。	全員で Demons out! Luck in! と言う。	"Everyone, together! Demons out! Luck in!" "At home, people eat one bean for each year of their age." "Try saying it in English at home tonight!"

📝 板書例

Setsubun 🍡 🍡

Demons out! Luck in!（鬼は外！福は内！）

👹 ____ out!
homework / cold / sleepy / angry / mistakes

😊 ____ in!
smile / luck / friends / health / fun

✅ 評価のポイント

- out と in を使い分けて、追い出したいもの・招きたいものを英語で言えたか（豆まきの見取り）。
- 全員で Demons out! Luck in! と声に出せたか。

👉 つまづきへの手だて

- 語が言えない子には、ことばカードを指さしながら先生がいっしょに言う。
- 人前で言うのが苦手な子には、となりの子と2人で声をそろえて言わせる。
- 物を投げるのがむずかしい教室では、投げる動作だけにする。

🌟 発展

- 北海道などでは落花生をまく家が多い理由（雪の上でも拾いやすい）を紹介し、peanuts を言ってみる。
- 基本セット p.3 のマッチング（demon・beans・sushi・peanuts など）で単語を確かめる。
- 基本セット p.8 のなぞり書き・ぬりえで鬼の絵をぬり、DEMON を書く。

📖 使う教材

- このサイトの英語ページ本文（第1・4段落）の音声
- 基本セット p.3（マッチング）
- 基本セット p.8（なぞり書き・ぬりえ）



2. 鬼の自己紹介を書こう

授業手順書（詳細版）／対象：中学／25分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

He has two horns. / He likes ... / He doesn't like beans. のように三人称単数の文を使って、オリジナルの鬼のプロフィールを5文で書き、追い払い方を英語で答えられる。

準備

- 鬼の絵と、先生が作った見本の鬼のプロフィール（例：Homework Oni）
- プロフィール用紙（絵の欄と5行の英文欄、最後に How can we chase it away? の答えの欄）
- このサイトの英語ページの会話（ハルトとミア）と音声
- 動詞のことばカード（has / likes / doesn't like / lives / comes / eats）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	4	英語ページの会話の最初（Mia, do you want to throw beans at my dad tonight? から It's Setsubun! まで）を聞かせ、お父さんがなぜ豆を投げられるのかを聞き取らせる。鬼の絵を見せ、角の数や色を英語で言わせる。	会話を聞き、お父さんが鬼のお面をかぶることを聞き取る。鬼の特徴を英語で言う。	"Why will Mia throw beans at Haruto's dad?" "Because he wears a demon mask!" "Look at this demon. How many horns does he have?" "What color is he?"
展開1	4	見本の Homework Oni のプロフィールを読む（This is Homework Oni. He has two horns. He likes long homework. He comes on Sunday night. He doesn't like beans.）。has / likes / comes のように s がつくこと、否定は doesn't を使うことを確認する。	見本を聞いて読み、三人称単数の s と doesn't の使い方を確認する。	"This is Homework Oni. He has two horns." "He likes long homework. He comes on Sunday night." "He doesn't like beans." "Look. He has, he likes, he comes. Don't forget the s!"
展開2	8	自分だけの鬼（Smartphone Oni, Sleepy Oni など）を考えさせ、用紙に絵を描き、5文のプロフィールを書かせる。ことばカードを参考にさせ、机間指導で三人称単数の s を確かめる。	オリジナルの鬼の絵を描き、5文の自己紹介を英語で書く。	"Make your own demon. Smartphone Oni? Sleepy Oni?" "Draw it first. Then write five sentences." "Use has, likes, and doesn't like." "Check the s at the end of each verb."
展開3	6	4人グループで1人ずつ鬼を紹介させる。聞き手は1人が How can we chase it away? と質問し、発表者は追い払い方を答える（例：Put your phone in a box at nine.）。	グループで鬼を紹介し、聞き手の質問に追い払い方を英語で答える。	"Show your demon to your group and read your profile." "Listeners, ask, How can we chase it away?" "Speakers, give one idea. For example, put your phone in a box at nine."
まとめ	3	用紙の最後の欄に、追い払い方を英語で1文書かせて完成させる。何人かの鬼を紹介し、教室に掲示する。	追い払い方を1文書いてプロフィールを完成させる。	"Write your idea in the last box." "Let's put your demons on the wall." "Demons out! Luck in!"

板書例

My Demon Profile 🐼

This is ____ Oni.

He has _____. (two horns / big eyes)

He likes _____.

He comes _____. (on Sunday night / in the morning)

He doesn't like _____. (beans!)

Q. How can we chase it away?

A. _____.

三人称単数：he has / he likes / he comes / he doesn't like

✓ 評価のポイント

- 三人称単数の s と doesn't を正しく使って、5文のプロフィールを書けたか（用紙で確認）。
- グループで自分の鬼を紹介し、質問に英語で答えられたか。
- 追い払い方を英語の1文で書けたか。

👉 つまづきへの手だて

- 5文がむずかしい生徒には、見本の文の空欄を埋める形のプリントを渡す。
- s のつけ忘れが多い生徒には、動詞に色ペンで下線を引かせ、自分で確かめさせる。
- 鬼のアイデアが出ない生徒には、「自分の苦手なこと」から考えさせる。

🔥 発展

- 昔の宮中で鬼を追う役の人が、のちに鬼として追われるようになった話（本文の第3段落）を読み、He chased demons. But later ... の文を作る。
- 基本セット p.7 の作文（This year, I want to chase away _____ because _____）を書く。
- 基本セット p.6 の並べかえ（We throw beans out the door. など）を解く。

📖 使う教材

- このサイトの英語ページの会話と本文（第3段落）、音声
- 基本セット p.6（並べかえ）、p.7（作文）



3. なぜ節分は2月2日になる？ 理科×英語

授業手順書（詳細版）／対象：高校／35分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

地球の公転と暦のずれを説明した英文を読み、立春の時刻のデータから節分の日付が動く理由を Setsubun moves because ... で始まる3文で自分の言葉で説明できる。

準備

- 英文プリント：A year on the calendar is 365 days, but the earth takes about 365.24 days to go around the sun. So the first day of spring comes about six hours later each year. In a leap year, it goes back by about one day.
- 立春と節分のデータ表（記事の「節分の日付」の節より）：2025年 立春2月3日23時10分→節分2月2日／2026年 立春2月4日5時2分→2月3日／2027年 立春2月4日10時46分→2月3日／2028年 立春2月4日夕方ごろ→2月3日／2029年？
- このサイトの英語ページ本文の第2段落と音声
- 時計の図（24時間）のワークシート

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	5	「節分は何月何日？」と聞き、2月3日と答えさせる。本文の第2段落を音声で聞かせ、It is usually February 3, but not always. In 2021 and 2025, it was on February 2.を確認する。2021年の2月2日は1897年以来124年ぶりだったことも伝える。	節分の日付を答え、音声を聞いて2月2日の年があることを知る。	"When is Setsubun? February 3?" "Listen. It is usually February 3, but not always." "In 2021, it was February 2 for the first time in 124 years. Why?"
展開1	8	英文プリントを読ませ、365日と365.24日の差が約6時間であること（0.24日×24時間）を計算で確かめさせる。節分は立春の前日なので、立春の日付が変われば節分も変わることを確認する。	英文を読み、1年のずれが約6時間になることを計算で確かめる。	"Read the handout. The calendar year is 365 days. The earth needs about 365.24 days." "What is 0.24 days in hours? Let's calculate." "About six hours. So spring starts about six hours later every year." "Setsubun is the day before spring. So when spring moves, Setsubun moves."
展開2	10	データ表を配り、ペアで2025～2028年の立春の時刻が毎年約6時間ずつ遅れていることを確かめさせる。そのうえで「2029年は？」と問い、うるう年（2028年）のあとで1日もどることを使って予想させる。答えは、記事にあるとおり2029年の節分は2月2日になることを確認する。	表のデータから約6時間ずつ遅れるパターンを見つけ、2029年の節分を予想する。	"Look at the table. How many hours later is spring each year?" "2028 is a leap year. What happens after a leap year?" "Guess. When is Setsubun in 2029?" "February 2! Your prediction was right."
展開3	8	Setsubun moves because ... で始まる3文の説明を、自分の言葉で書かせる。英文プリントの文をそのまま写さず、数字（365 / 365.24 / six hours / leap year）を使って説明するよう指示する。	数字を使って、節分の日付が動く理由を3文で書く。	"Write three sentences. Start with Setsubun moves because ..." "Use the numbers. 365 days, 365.24 days, six hours, and leap years." "Use your own words. Don't copy the handout."
まとめ	4	2～3人に説明を発表させ、わかりやすかった点を確認する。最後に、節分はもともと四季それぞれの前日にある年に4回だったことを紹介して終わる。	説明を発表し、ほかの人の説明を聞く。	"Who can explain it to the class?" "Good. Short sentences and numbers make it clear." "Long ago, there were four Setsubun days each year, one before each season."

板書例

Why does Setsubun move?

calendar year : 365 days

the earth : about 365.24 days → $0.24 \times 24 =$ about 6 hours

立春 / 節分

2025 Feb 3 23:10 → Feb 2

2026 Feb 4 5:02 → Feb 3

2027 Feb 4 10:46 → Feb 3

2028 Feb 4 夕方ごろ → Feb 3 (leap year)

2029 ? → Feb 2! (うるう年のあと1日もどる)

Setsubun moves because ____.

So _____. In a leap year, _____.

評価のポイント

- 英文を読み、1年のずれが約6時間になる理由を計算で説明できたか。
- データ表からパターンを見つけ、2029年の節分を根拠をもって予想できたか。
- 数字を使って、日付が動く理由を自分の言葉で3文書けたか。

つまずきへの手だて

- 計算が苦手な生徒には、24時間の時計の図に毎年の時刻を書きこませ、6時間ずつ進むことを目で見せる。
- 英文がむずかしい生徒には、earth / go around / leap year などの語の意味を先に確認する。
- 3文が書けない生徒には、Setsubun moves because ____ の1文だけでよいことにする。

発展

- 最後に節分が2月4日だったのは1984年であることを記事から読み、なぜ2月4日になることがあるのかを考える。
- アメリカのグラウンドホッグデー（2月2日）など、季節の分かれ目の行事をアクティビティ集 B5 国くらべて調べる。
- 基本セット p.2 の TF (Setsubun is always on February 3. など) に取り組む。

使う教材

- このサイトの英語ページ本文（第2段落）と音声
- 記事の「節分の日付」の節
- 基本セット p.2（4択・TF）
- アクティビティ集 B5（国くらべて）



4. 世界の鬼払いマップ

授業手順書（詳細版）／対象：高校／40分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

世界の厄払い行事を、いつ・何を追い払うか・どうやって、の3点で調べ、Like Setsubun, ... / Unlike Setsubun, ... の形で節分と比べて英語で発表できる。

準備

- 担当カード：春節の年獣（中国）、クランプス（オーストリア）、クケリ（ブルガリア）、チャハールシャンベ・スーリー（イラン）、プロム（韓国のテボルム）
- 記事の「海外に似た日はある？世界の『悪いものを追い出す日』」の節と国別くらのコピー
- 調べ学習シート（When? / What do they chase away? / How?）
- 世界地図（黒板用）と付せん
- このサイトの英語ページ本文の第1・3段落と音声

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	5	本文の第1段落と第3段落を音声で聞かせ、節分で何を追い払うか（demons that brought sickness）と、どうやって追い払うか（throw beans / a man in a scary mask）を確認する。「世界にも悪いものを追い出す行事がある」と伝える。	音声を聞き、節分で追い払うものと方法を確認する。	"Listen. What did people chase away long ago?" "Demons that brought sickness. How did they do it?" "Other countries also chase away bad things. Let's find out how."
展開1	12	グループで担当カードを1枚選び、記事のコピーや信頼できる資料でWhen? / What do they chase away? / How? の3点を調べ、英語でシートにまとめさせる。例：China / on New Year's Eve in the old story / a monster called Nian / with red decorations and loud firecrackers.	担当の行事の3点を調べ、英語でまとめる。	"Choose one card for your group." "Find three things. When? What do they chase away? How?" "For example, in China, people use red decorations and loud firecrackers." "Write short English notes."
展開2	8	Like Setsubun, ... / Unlike Setsubun, ... の形で、節分と比べる文を1つずつ作らせる。例：Like Setsubun, Kukeeri uses scary masks to chase away bad spirits. / Unlike Setsubun, Chaharshanbe Suri uses fire, not beans.	節分と比べる文を、似ている点・違う点で1つずつ書く。	"Now compare your festival with Setsubun." "Like Setsubun, ... What is the same?" "Unlike Setsubun, ... What is different?"
展開3	12	各グループが世界地図の担当国に付せんを貼り、2分で発表する。3点の紹介と、比べる文2つを言わせる。聞く側は表を埋める。	地図に付せんを貼って発表し、ほかのグループの発表を聞いて表を埋める。	"Put your sticky note on the map." "Tell us the three facts, then your two comparison sentences." "Listeners, fill in your table."
まとめ	3	地図を見て、多くの行事が冬の終わりや新年の時期にあることに気づかせる。「なぜこの時期に悪いものを追い出すのか」を一言ずつ答えさせて終わる。	地図を見て、行事の時期の共通点に気づき、理由を考える。	"Look at the map. When do most of these festivals happen?" "Around the new year or the end of winter. Why then?" "A new season is a good time for a fresh start."

板書例

Chasing away bad things around the world 🌐

国 / When? / What? / How?

JP Setsubun / the day before spring / demons (sickness, bad luck) / throw roasted beans

CN China / New Year's Eve (old story) / the monster Nian / red decorations, firecrackers

AT Austria / December / Krampus walks the streets

BG Bulgaria / winter / bad spirits / Kukeeri : fur, big masks, bells, dancing

IR Iran / the last Tuesday night before Nowruz / bad things of the old year / jump over fires

KR Korea / Daeboreum / skin problems / crack nuts with your teeth

Like Setsubun, _____.

Unlike Setsubun, _____.

評価のポイント

- 担当の行事について、3点を資料にもとづいて英語でまとめられたか。
- Like Setsubun, ... / Unlike Setsubun, ... の形で、正しい比較の文を書けたか。
- ほかのグループの発表を聞き、表を埋められたか。

つまづきへの手だて

- 資料を英語にしにくいグループには、キーワード（firecrackers / mask / bells / fire / nuts）を黒板に示す。
- Unlike の使い方に迷う生徒には、まず But in _____, _____ で書かせる。
- 発表が苦手な生徒には、When? の1文だけを担当させる。

発展

- クランプスがどんな存在かを調べ、日本の鬼やなまはげと比べる文を書く。
- アクティビティ集 B5 国くらべて、5つの行事の表を完成させる。
- 基本セット p.7 の作文（This year, I want to chase away _____ because _____）を書く。

使う教材

- このサイトの英語ページ本文（第1・3段落）と音声
- 記事の「海外に似た日はある？」の節と国別くらべ
- アクティビティ集 B5（国くらべ）



5. 恵方巻は伝統か？ 食品ロスと商業化を考える

授業手順書（詳細版）／対象：大学／45分

Class

No.

Name

ねらい

恵方巻が広まった歴史（1932年のチラシ、1989年、1998年）を確認し、新しく広まった習慣を伝統と呼べるかを英語で議論したうえで、食品ロスへの対策を英語で提案できる。

準備

- このサイトの英語ページ本文の第5段落と音声
- 記事の「恵方巻はいつから？大阪の巻きずしが全国区になるまで」の節のコピー
- 年表のワークシート（1932年・1970年代・1989年・1998年・2000年代）
- advanced の英文「When the Demon Hunter Became the Demon」（伝統が時代とともに変わる例として）
- 提案シート（Problem / Our idea / Who does it / Why it works）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	5	「恵方巻を食べたことがある人？」「いつから食べている？」と挙手で聞く。本文の第5段落を音声で聞かせ、恵方巻という名前が1989年に広島のコビニでつけられたことを確認する。	自分の経験を答え、音声を聞いて名前の始まりを確認する。	"Have you ever eaten ehomaki? Since when?" "Listen to paragraph five." "When did the name ehomaki start? Where?" "1989, in a convenience store in Hiroshima."
展開1	10	記事の節を読ませ、年表を埋めさせる：1932年の大阪の鮮商の組合のチラシ（「節分の日に丸かぶり」）、1970年代の海苔業界の宣伝、1989年の広島での販売、1998年の全国展開、2000年代のほかのコビニやスーパーの参加。起源には諸説あることも確認させる。	記事を読み、恵方巻が広まった流れを年表にまとめる。	"Read the handout and fill in the timeline." "What happened in 1932? Who made the flyer?" "When did it go nationwide?" "Is the origin clear? No, there are several ideas."
展開2	12	「新しく広まった習慣は伝統と言えるか」をグループで英語で話し合わせる。advanced の英文で、鬼を追う役が鬼になったように、節分そのものも時代とともに変わってきたことを材料として示す。グループの結論と理由を2つ、英語でまとめさせる。	グループで、恵方巻を伝統と呼べるかを話し合い、結論と理由をまとめる。	"Ehomaki spread across Japan only about 30 years ago. Can we call it a tradition?" "Remember, Setsubun itself has changed. The demon hunter became the demon!" "How old does a custom need to be? Who decides?" "Write your group's answer and two reasons."
展開3	10	食品ロスの問題（売れ残った恵方巻が大量に捨てられ、農林水産省が業界に需要に見合った販売を呼びかけたこと）を紹介する。グループで対策を英語で3つ提案させる（予約販売、小さいサイズ、売れ残りの活用など）。提案シートの4つの欄を埋めさせる。	食品ロスへの対策を3つ考え、英語で提案シートにまとめる。	"Many unsold ehomaki are thrown away. That is food loss." "Think of three ideas to reduce it." "Who should do it? Stores? Customers? Families?" "Explain why each idea works."
まとめ	8	各グループが提案を1つずつ発表する。最後に、恵方巻は伝統か、食品ロスをどう減らすか、の2点を含めた150語の英文の意見文を課題とし、授業中は最初の段落を書かせる。	提案を発表し、150語の意見文の最初の段落を書く。	"Each group, share your best idea." "For homework, write 150 words." "Is ehomaki a tradition? How can we reduce food loss?" "Start your first paragraph now."

板書例

Is ehomaki a tradition?

1932 Osaka : a sushi shop group's flyer (節分の日に丸かぶり)
 1970s : nori companies' events
 1989 Hiroshima : a convenience store → the name ehomaki
 1998 : nationwide
 2000s : other stores join
 ※ origin : several ideas

Advanced : the demon hunter became the demon → customs change

Food loss : unsold rolls thrown away
 Ideas : reservations / smaller sizes / _____

Problem / Our idea / Who does it / Why it works

評価のポイント

- 恵方巻が広まった流れを、記事の年号どおりに整理できたか。
- 伝統と呼べるかについて、根拠を2つ示して英語で議論できたか。
- 食品ロスへの対策を、実行する人と理由を含めて英語で提案できたか。
- 150語の意見文で、自分の立場と理由を筋道立てて書けたか。

つまずきへの手だて

- 英文を読むのに時間がかかる学生には、このサイトの和訳を見てよいことにする。
- 議論で発言しにくい学生には、I think it is / is not a tradition because ... / For example, ... の型を配る。
- 対策のアイデアが出ないグループには、家庭・お店・地域の3つの立場から1つずつ考えさせる。

発展

- 関西では今も「丸かぶり寿司」と呼ぶ人がいることを記事から読み、名前が習慣の広まり方にどう影響するかを考える。
- 発展セットの paraphrase と summary に取り組む。
- クリスマスケーキや福袋など、ほかの「お店が広めた行事の習慣」を調べ、恵方巻と比べる。

使う教材

- このサイトの英語ページ本文（第5段落）と音声
- 記事の「恵方巻はいつから？」の節
- 発展セット（advanced の英文と問題）